



都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

編集発行: 都城国際交流協会
〒885-8555 都城市姫城町6-21
都城市役所 国際化推進室内
電話 0986-23-2295
FAX 0986-23-3223
http://miyakonojo-mia.com/
E-mail mia@btvm.ne.jp

マウンテンバイク ツーリングの思い出

都城国際交流協会会員の三浦孝道さんからの記事をご紹介します。

我が家の車庫にもうしばらく乗っていない自転車(マウンテンバイク)がある。

この自転車は、私が会社を定年退職してから暫くの間、ツーリングで私を随分楽しませてくれた旅の相棒だった。

最近は何れも利用せず車庫の片隅で長い間次の出番を待ち続けてくれたが、2年ほど前、再びこの自転車で旅に出たい気持ちが沸き起こり自転車店に整備に出したが、取り換え部品が廃番になり整備が出来ず計画は頓挫、自分も歳を重ねて脚力に自信がなくなってきたこともあり旅行を中止し、思い切って廃車処分することにした。

そこで処分する前にわが相棒との楽しかった旅の思い出を振り返ってみた。

そもそもこのマウンテンバイク、娘からのプレゼントで娘がたまたまアメリカ発祥の有名清涼飲料メーカーC社のイベントで展示してあったのを見つけ、非売品を三拝九拝して買ったもの。

実は、娘は高校生の時1年余りアメリカに留学したことがあって、そのホストファミリーの影響もあり留学中からC社の広告品や備品などのアンティークグッズを蒐集している。当然このバイクもC社カラーの赤色、Cロゴ入り、新品でアンティークではないが蒐集したいC社縁のグッズ。

「C社の歴史はアメリカの歴史」と言われるぐらい古い歴史のある世界中で飲まれている飲み物、世界中どこに行っても看板を見かけるほど有名で、アメリカ人の中にはこの世界的企業に誇りを感じている人も多いと聞く。

娘は購入後3年間くらい自宅アパートに飾っていたのを私にプレゼント(強引に譲り受けたと言うのが正しいかも?)してくれたもので、定年退職して時間が出来たら自転車で旅行することを楽しみにしていた私には願ってもないプレゼントだったのである。

自転車は排ガスゼロ、燃費ゼロ、移動自由度無限の優れモノ移動ツールで、自分の脚力で推進力を生み全身に風を受けて走る爽快さは堪らない!(幸い私はマラソンで脚力も鍛えているので漕ぐ力はあるし…)

最初に計画したのは自分の出身地関西(神戸、姫路、大阪)迄10日間ツーリングすること。

コースは、都城→宮崎→日向→臼杵、臼杵からフェリーで四国八幡浜に渡り四国を横断、鳴門から淡路島を縦断



世界遺産・姫路城

してフェリーで明石に渡り神戸まで6泊7日800km、神戸から姫路、大阪まで200km、総計約1000kmを走破した。

太いタイヤ(ペダルは重くスピード出ない)、重い荷物、峠越えの上り坂など簡単ではなかったが不思議と疲労感はずり目的は達した。

神戸で友人達と再会し全行程踏破を祝ってくれたが、無謀な挑戦(その時64歳)に呆れられもした。でも自分には達成感があり、帰路のフェリーでは次の旅行の計画を考えながら旅を終えた。

2度目のツーリングは翌年に北海道、それも8月下旬に開催される「北海道マラソン」出場を兼ね、マラソンの後、1週間かけて道央部(小樽→札幌→支笏湖→室蘭→洞爺湖→ニセコ→小樽など)を周遊する6泊7日700kmの自転車旅。さすがにマラソン後の翌日からアップダウンの多いコースを疲労の残る足でペダルを漕ぐのは疲れた!でも室蘭の地球岬から見た雄大な景色や神秘的な支笏湖、洞爺湖、羊蹄山やニセコの山の佇まいに癒されながらのツーリングは最高だった!

行く前に苦労したのは北海道までマウンテンバイクを運ぶ方法、旅行に出るときは家から自転車で出発するのが基本的に考えているので貨物として現地に送る方法はしなくなかった。今回は宮崎港までペダルを漕ぎフェリーで大阪へ、大阪から友人の車で京都・舞鶴港迄送ってもらい、ここからフェリーで自転車と一緒に小樽に渡り、初秋の北海道でマラソンとツーリングを楽しみ思い出に残る旅になった。

2度の長距離ツーリングで自信が付き次は海外を走ってみたいくなり、まず計画したのは隣国の中国を旅行すること。

理由は、自分が生まれた中国(旧満州・黒竜江省)にすごく興味があること、国際交流で知り合った中国の友人達と再会したいこと、この国には「上有天堂 下有蘇杭」(天上には極楽有り、地上には蘇州 杭州有り)と言われる風光明媚な所があり、ここを自転車でゆっくり見て回りたいと思ったから。

ルートは、自転車で宮崎港に行きフェリーで大阪南港へ、ここから中国船籍の貨客船で上海に渡り、蘇州、杭州のある江南地方を目指す約1000kmの旅。

この時の拙い旅行記は2007年2月から4月迄の3回に渡りMIAニュースに掲載して頂いたもので内容は省略させて



マイ マウンテンバイクと
中国籍のフェリー「新鑑真」

頂きますが、宮崎に留学していた学生との再会や旅行中に知り合った人達と触れ合っ、帰国してからも思い出すたびに貴重な経験をした1ヶ月間だったと懐かしんでいる。

中国を自転車で旅をしたいところはもう1ヶ所あり、翌年の秋に2ヶ月のビザを申請して計画を実行した。行き先は四川省・成都市、ここを中心に周辺の世界遺産、歴史遺産を訪ねること。

成都市は、中国からの初代国際交流員・李彪さん、都城の企業に研修生として来ていた交流のあった大勢の元研修生も周辺に住んでいる都市、皆さんに再会することも楽しみに出かけた。

そして、この旅を実行する決断の後押ししてくれたのは、交流のあった元研修生の一人から1ヶ月間のホームステイ受け入れの誘いがあったからで、これは本当に有り難かった！この家をベースに自転車で周辺の世界遺産・青城山、都江堰、樂山大仏などや武侯祠、三星堆、青羊宮などの歴史遺産観光その他、なかでもパンダ繁育基地で40数頭のパンダを見た時の感動は忘れられない。

もちろん、李彪さんや元研修生達と何度も再会して旧交を温め、都城での思い出話も尽きなかった。さらに鉄道で重慶や西安にも行き、重慶市内観光や西安城壁、兵馬俑坑などを見学、ここでも西安出身の元研修生達達と再会、歓迎会を開いてくれて白酒を飲み



中国世界遺産「都江堰」・南橋

ながら遅くまで語り合った。

1ヶ月の成都滞在の後、鉄道で蘇州まで戻り、元留学生達と再会し1週間滞在、旅の最後の目的「上海マラソン」に出場して50日振りに日本に帰ってきた。



西安市の元留学生の歓迎会

今回の旅は、大阪から中国船籍の船で上海まで45時間、上海から成都市まで鉄道で34時間自転車と一緒に移動する手段を取り、船で3000km、鉄道で6500km、自転車走行1000km余り、2ヶ月近い長旅であったけれど無事に全行程を終えることが出来た。

目的地を通り過ぎるだけの旅よりも、滞在してゆっくりと自分の足で現地と触れ合う旅の方がより理解が深まる。それには自転車旅は本当に有効で今回も自由にあちこちを巡り沢山のことを体験した。

また、長期間ホームステイでの触れ合いはその家庭の生活習慣や食事、娯楽など一般の旅行ではできない貴重な経験をさせて頂いた。そして帰国した留学生、研修生、交流員及びその家族の方々との触れ合いでさらに交流が深まった気がする。私が帰国してからもその交流は今も続いている。

貴重な経験をさせてくれたマイ・マウンテンバイクよ有難う！

「モンゴルの伝統的なお守り: 赤ちゃんのフェルトのキツネ」

～都城市モンゴル国際交流員 ソヨルマーさんによるモンゴル紹介～

モンゴルでは、赤ちゃんにまつわる伝統的な習慣がたくさんあります。その一つは、赤ちゃんが生まれたら、お父さんがフェルトでキツネを作ってあげる習慣です。心を込めて作ってくれたフェルトのキツネですが、赤ちゃんがまだ遊べないし、何のためのものかなあと思っているかも知りませんね。

用途を先に述べますと、赤ちゃんを安眠させてくれるお守りです。お守りであるため、何から守ってくれるの？と言いますとフェルトのキツネは、赤ちゃんの寝ているときの顔に出す表情と関係があります。寝ている赤ちゃんは気持ちよく遊んで微笑んでいて、急に泣きそうな顔をしたり、また微笑んだりしますね。どんな人も癒されるこの表情ですが、モンゴルではこの表情を次のように解説します。



フェルトのキツネ

赤ちゃんの夢にキツネが来て、「あなたのお母さんが遠く行くよ」と言ったら、赤ちゃんが怖くて泣きそうになったところでキツネが、「冗談だよ、冗談だよ」と言ったら赤ちゃんが喜んで微笑むと言います。赤ちゃんの脳がまだ夢と現実を区別できないようになっていないため、夢で見たものを現実のものだと認

識する可能性があるという考えがモンゴルにあるので、夢に出るキツネの言うことを聞かないでお父さんの作ったキツネで遊んでねという思いを込めて、赤ちゃんが寝ているベッドの上に天井からぶら下げてつけてあげます。

赤ちゃんの夢に現れ騙そうとしたキツネが、フェルトのキツネを見て、この子には別のキツネがすでにいるから帰ろうと思ひ夢に現れないで帰るため、お父さんの作ったお守りのおかげで赤ちゃんが気持ちよく落ち着いて寝られるということですね。

フェルトのキツネだけをつける習慣のほかに、キツネと一緒に鮮やかなシルクで作った三角の飾りをつける習慣もあります。このシルクの飾りを赤、緑、青、黄、白色で作るのが多いです。小さいときからカラフルなものを見て育つと脳と視力に良い効果を与えられているとされています。



シルクの飾り付きのフェルトのキツネ

◇日本語講座(初級) 受講生募集!

※要申込み 受講料無料

市内在住の外国人が地域で生活していくため、コミュニケーションツールとしての基本的な日本語を習得していただくための講座です。応募者多数の場合は選考を行います。



●日 時:8月17日、20日、24日、27日、31日、
9月3日、7日、10日、14日、17日の全10回
19:00~20:30(90分間)

●定 員: 5名(応募者多数の場合は選考があります。)
●受講対象者: 都城市内在住の外国人
●受講料: 無料(テキスト代として1,100円必要な場合あり)
●申込締切: 8月6日(金)
●申込み・問い合わせ:
都城市コミュニティ文化課国際化推進室
電話: 0986-23-2295
Fax: 0986-23-3223
Email: intl@city.miyakonojo.miyazaki.jp
※申込書は、市ホームページにも掲載しています。



Aussie Bites (オーストラリアを、ひとかじり!) MIA会員佐伯美佐子さんから「オーストラリア旅行記」です

シドニーの博物館が盛り沢山で、かつ迷路みたいでとても良かった。今でこそ日本も水槽のトンネルがあるけど、シドニーの水族館は、30年近く前から画期的な作りだった!

コアラも抱っこできてドキドキだった! ゴールドコーストの遊園地に、昔の西部劇の時代のような衣装体験コーナーがあつて、街並みもそのときにタイムスリップした感じで感動!

食事が一人前頼んだのに3人分くらい大きなお皿に盛られていてビックリ!

気球に乗って降りる時、日本なら交通障害で警察に連れ

て行かれそうなのに、場所の確保に下にいる人達が気球が降りて来るのを見てバタバタ片付けしてオーストラリアの人のおおらかさを感じた!

そして信号待ちをしている時に会った人に声をかけると、気軽に家で食事をご馳走してくださいました。しかも手作りハンバーガーが最高!

またおおらかさに感動と感謝!



編集部より

梅雨なので仕方ないとはいえ、週末になるたびにお天気が悪く、山登りに行けない日がほぼ2か月続いていましたが、先日、久しぶりに晴れたので韓国岳に行ってきました。登山口から見上げる山はガスの中でしたが、せっかく来たんだしと山頂でお稲荷さんをほおぼしていたら、最悪なことに大粒の雨が…。運動不足の足腰なのにトレランみたいにしんどい下山し、予想どおり筋肉痛です。残念。 [池田]

皆さんご存じのように7月3日から10月17日まで、宮崎県内において第35回国文祭・芸文祭みやざき2020と第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会が行われます。このような時期ということがあつて、本来で形式と違う形で実施するイベントも多いと思いますが、徹底的なコロナ対策をとった上で、行われる予定です。私も、都城市で行われる様々な舞台を見たくて、ぜひ調整して行きたいと思っています。 [ソコ]

北海道編①②に続いて、今回は【青森～宮城編】です。
青森と言えば…りんご。宮城と言えば…日本三景松島ってところでしょ? 皆さんは何を連想しますか? 学生当時は、太平洋側を鈍行列車で北上し、日本三景のひとつ「松島」で遊覧船観光。仙台では、青葉城観光と仙台の牛タン、テールスープをおいしくいただいたなあ…と思いつつ、その翌日は、岩手のリアス式海岸や「わんこそば」を堪能。話には聞いていましたが、蓋を閉めるまで食べ続けなければいけないルールの「わんこそば」。おなかいっぱいになり、蓋を閉め、降参、と思いきや、中にわんこそばがあーっ。ちょっとした隙間を狙って蓋を閉めるまでのコマ何秒かに絶妙な技で、そばがお椀の中に投げ込まれているのでした…凄すぎるっ!! 【次回、山形～新潟編へ続く】 [西畑]

「心静自然涼(シン ジン ズー ラン リアン)」。猛暑が来ると、私はいつもこの言葉を思い出して、自分を心理的に冷やしています。これは中国の諺で、「心が静かになれば、自然と涼しく感じられる」との意味です。情緒状態も熱量に影響があるらしいです。怒る時やイライラする時などは、顔が赤くなって汗が出やすいですね。逆に内心が安定しているなら、心拍数が遅くなり、代謝が落ち、自然に体内の熱量が下がります。かなり効果があると思います。皆さんも暑くてたまらない時はまず心を静かにさせて安静してみてくださいね。 [銭]

最近、小6の息子が「算数チャレンジ問題」のプリントを毎日毎日持って帰って来ます。ビール片手にソファでくつろいでいると「面白いから一緒にやろう!」と声をかけてくれます。これがなかなか難解で辛い日々です。柔軟な思考とひらめきが完全に自分に欠落していることを痛感しています。 [山内]

夏と言えば、ビーチでしょう! 足元にあったかい砂が足指を包まれること、優しく吹く涼しい風を感じる、少し冷たい水に飛び込むこと、友達と一緒にビーチバレー等を遊ぶことなど、もう最高です! 最近、天気がいい日に、余裕があれば木崎浜サーフポイントに行き、自分の健康のために数時間位泳ぎますが、やはり友達がいなくて鬱陶気が違います。また皆さんと一緒にどこかで遊べるようになる日、お楽しみに待っています! [ジョージ]

最近、ぐっと暑くなってきましたね。夏が近づいてきたんだなあという感想と共に、日中のあまりの暑さに、早く夏が終わって秋にならないかなあとも思ってしまう。それは我が家で飼っているミニチュアダックスフンドも同じようで、あまりに暑いと、エアコンを何度も見てアピールを始めます。どうしてほしいのか、一目瞭然です。そしてそのアピールは家計に厳しい母に対してではなく、なにかと甘い私と父に向けられていて、その的確な判断にいつも感心してしまいます。そして今日も、ワンコのためだから仕方なく、という体でエアコンを付けるのです。今月の電気代が怖い。 [川内]

都城も梅雨明けして、いつも通りの暑い夏がやってきました。ただし、いつも通りでないのが新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止になってしまう伝統行事です。私の地区も六月灯は神社でのお祓いだけになり、子ども神輿も行われません。環境美化の日の活動も中止になりました。昨年に引き続き寂しい1年になりそうです。ちなみに、自宅の隣のおじちゃんと言うには、「蜂が低く飛んでいるから今年の台風は少ないかも。」期待したいと思っています。

追伸 日本語れんしゅう会は、8月夏休みに入ります。講師の皆様のおかげでどうにか第1四半期を無事に終わることができました。ありがとうございました。9月からまたよろしく願います。 [田中]